

令和4年度山梨県立身延高等学校 第2回学校運営協議会 報告

1 日時：令和4年10月18日（火） 14：30～17：10

2 内容

第1部 授業参観（14：30～15：15）

委員の方は、各自で自由に参観

第2部 生徒意見交換会（15：30～16：00） [多目的室]

第3部 協議会（16：00～17：00） [多目的室]

【次第】 開会

会長あいさつ

校長あいさつ

議事（議長：会長）

（1）授業参観の感想<各委員より>

（2）意見交換会の感想<各委員より>

（3）授業アンケート<教頭より>

（4）学校改善アンケート<教頭より>

連絡

閉会

3 出席者

〔委員〕 学校運営協議会会長

学校運営協議会副会長

身延山大学副学長《第3部のみ》

峡南広域行政組合公平委員会委員

身延町学校教育課課長

南部町学校教育課課長

早川町学校教育課課長《第3部のみ》

身延高等学校長

〔事務局〕 教頭 事務長 教務主任

〔生徒〕 7名《第2部のみ》

4 報告

【第2部 生徒意見交換会】

① 「身延高校の生活の中で最も楽しい時間(身延高校で自分が最も頑張っていること)」  
について、生徒が日頃思っていることを発言

〔発言内容〕

- ・仲間とともに勉強すること、友達と話すこと、部活動をすること。一人で過ごすよりも仲間と過ごすことで一日が充実する。
- ・友達と話している時間、部活動をしている時間、勉強面では自分の力で問題が解決できた時が楽しいと感じる時間である。
- ・友達や先輩たちと話している時間。身延高校は少人数だから、友達や先輩たちとの

絆を築きやすいと思う。また、思いやりのある人が多く、お互いに助け合いながら生活している。苦しい時や辛い時はいつも仲間が助けてくれる。

- ・友達と過ごす時間と部活動においてできなかったことができるようになった時が楽しいと感じる。友達と過ごす時間はリフレッシュの時間となる。野球部で自分たちの目標が達成できるとさらにやる気が出てくる。
- ・授業中は友達と話し合いながら問題を解いているときが楽しいと感じる。特に数学や英語、今日も化学の授業であったが、一人ではわからない問題を友達と相談して解くことができたその瞬間が楽しいと感じる。また、私がとっているS数学とS英語は6人という少人数の授業だが、休み時間もその6人で話すことが多く、楽しいと感じる瞬間である。
- ・自分の進路に向けて自分が選択した授業で、わからない部分等を教え合っているときがとても楽しいと感じる。
- ・部活動である。高校で初めて運動部に入り、分からないことや悩みもたくさんあったけれど、先輩方や仲間たちに支えられ、自分を高めることができ、とてもよい時間を過ごすことができた。

## ②委員の方からの事前質問への回答

### ◎身延高校の魅力はどんなところにあるか？

- ・1つ目は、身延高校は総合学科であり、多くの科目を設定しているので、自分の夢の実現に近づくことができる。自分は将来、福祉系の仕事に就きたいと考えているので、文系のコースを選んで勉強したいと思う。2つ目は、高大連携講座があることである。高大連携講座を受講しているが、身延町について多くのことを知ることができた。
- ・身延高校は少人数だから、先生と生徒、生徒同士が交流する機会が多い。また、担任の先生や顧問の先生に相談しやすい雰囲気があり、何でも話ができたりすることができる。

### ◎身延高校を更に魅力ある学校にするためにはどうしたらよいか？

- ・ニュース番組で高校の広報部や放送部が学校に紹介をしているのを見たことがあるが、身延高校も広報部や放送部などの部を作って、ホームページなどで身延高校の良さを広く発信していくとよいと思う。
- ・身延高校の魅力をもっと伝えることに力を入れていくとよいと思う。自分が中学の時は身延高校がどんな学校なのかよくわからなかった。今の中学生もよく知らない人が多いのではないかと思うので、身延高校のことがよく分かった状態で入学してもらえるとよいと思う。また、在校生が身延高校での学習や生活をより充実したものにしていくことが大切だと思う。
- ・身延高校に生活していて、校舎内の設備等で気になることがある。例えば、床のタイルが剥がれているところがあるのが気になる。こういうところは生徒も見ると、外部の方も目に付くところであるので、改善していくとよいと思う。また、コロナ禍の中で難しい面があると思うが、地域の人や小中学生との関わりがもっとあるとよいと思った。今は、高大連携講座やライフミュージアムがあるが、学校関係の方との関わりは増えているが、地域の方とはまだ少ないと思うので、そういうところ

を改善して身延高校の今ある魅力を広めていくべきだと思う。また、身延高校は1年次から高校卒業後の進路を考えるシステムになっているので、早い段階から目標を決めることができた。身延高校がそのようなことができることを中学生の頃は全く知らなかったので、そういうところを広められたら、更に魅力がある学校になるのではないかと思った。

◎身延高校の進学希望者が一人でも多くなるためにはどんなことをしたらいいか？

- ・総合学科の利点をもっと発信したらよいと思う。総合学科は「産業社会と人間」という授業があり、自分の将来について十分考えることができる。そして、2年次からは自分の将来の夢に向けた授業選択をすることができ、より専門的な知識を身に付けられたり、授業内で検定を受検し取得したりすることができる。このようなことができるのは身延高校の大きな特徴の一つだと思う。より多くの人に知ってもらいたい。
- ・中学生が各部活動に参加する機会をもっと増やすとよいと思う。身延高校は部活動を十分にできる環境があり、伝統のある部が多い高校である。私は中学時代、吹奏楽部に所属していたが、吹奏楽部の情報しか入ってこなかった。中学時代の部活動をそのまま高校でも行うとは限らないので、その他の部活動の情報を知ることができれば、身延高校の雰囲気や魅力を見つけ、入学後に自分の最大の魅力を引き出すことができると思う。そうすれば、進学を希望する生徒がもっと増えると思う。

③委員の方からの質問、意見、感想

〔委員〕7人の代表の生徒さんの考えや思いを聞くことができ、本当に良かったと思う。それぞれ身延高校の良さを理解して、「身延高校で学んでよかった」という言葉が聞けて、私は中学校の校長として、皆さんのそういった思いや「身延高校に行けばこんなに自分の力を伸ばせるんだ」ということを今の中学生に伝えたいと思った。その中で、「自分の進路に向けて自分が選択した授業で、わからない部分等を教え合っているときがとても楽しい」ということがあったが、進路については、今どのように考えているか、よかったら教えてほしい。

(生徒)卒業後は放射線技師を目指していて、放射線科のある専門学校に進学する予定です。放射線というのは、理科の化学や物理に関係していて、その授業を友達と一緒に受けているときが楽しい。

〔委員〕因みに、私たちのときは大きく分けて文系と理系に分かれていたが、3年生の中で理系と文系の人数は、どのぐらいの割合になるか教えてほしい。

(生徒)理系選択者は少なく、選択する科目群でR Jにまず分かれるが、R Jが20人ぐらいで、その中で5人ほどである。

〔委員〕生徒さんの思いを聞くことができた。総合学科になってもう10年くらい経つと思うが、総合学科の成果が上がっているように感じている。私は同窓会の役員もしているが、一番心配しているのは生徒数が少ないということである。同窓会としても中学生にいかに身延高校に来てもらうかということを常に考えているが、皆さんが今持っている意見を後輩に伝えていくと、身延高校に来る人が多くなると思う。皆さんが中学生に身延高校のいいところを是非発信してもらいたいと思う。同窓会の方としても協力をしていきたいと思っているので、皆さんがやりたいことがあれ

ば伝えてもらいたいと思う。

〔委員〕まず、皆さんにお礼を言いたい。貴重な時間を割いていただき、私たちがきちんと身延高校のことを理解できるように、いろいろな思いを伝えてくれた。そのことにまず感謝したい。それから、私たちも過日行われた創立 100 周年の記念式典に参加をさせていただいた。皆さんも体育館または会場で参加していたと思うが、式典の中で大切なことが幾つか言われていたと思う。身延高校が非常に歴史と伝統を持っている高校であること、知の拠点として、峡南地域にはなくてはならない学校であること。そういったことを皆さん自身も改めて、感じる事ができた式典だったと思う。先ほど別の委員の方からもあったように、今日、皆さんが私たちに伝えてくれたことを、是非、仲間たちにも伝えて欲しい。その仲間たちが、また地域の方が、小学生中学生にも身延高校はこういう学校なんだということを伝えていただくことが、身延高校をさらに前進させていく力になるということを感じながら、皆さんの話を聞かせてもらった。今日は貴重な意見を聞かせていただいてありがとうございました。

### 【第 3 部 協議会】

#### ①会長あいさつ

ちょうど 1 年の折り返しの時期を迎えた。そういう中で身延高校は、過日、創立 100 年という大きな節目を迎えることができた。それぞれの立場で、今まで身延高校に関わっていただいたり、支えていただいたりしたことを、校長先生ともども感謝したいと思っている。身延高校をさらに前進させていくために、今日これからの話し合いにご協力をいただければありがたい。本日はよろしく願います。

#### ②校長あいさつ

平素より、本校の教育活動に対して、ご理解、ご協力、またご支援をいただき感謝したい。また、先ほど会長さんのお話の中にもあったが、先日の創立 100 周年記念式典・講演会については、ご多用のところご列席いただいた。おかげさまで無事執り行うことができた。心より感謝したい。さらに本日は、協議会に先立ち、授業参観と生徒意見交換会を通して、本校の教育活動の一端をご覧いただいたり、生徒の様子を実際にご覧いただいたりする機会を設けさせていただいた。既に年度当初の教育目標と方針の中でご承認をいただいているが、授業においては生徒が主体的に考えたり調べたりする中で、深い学びや探究的な学びをいかに実践していくかということ掲げて取り組んでいる。また本年度から一人一台パソコンが入ってきたので、ICT の授業活用に取り組んでいる。本校ではキャリア教育を軸として、将来に必要な資質・能力の育成に向けて、生徒の自己表現力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の育成に力を入れている。このような点を踏まえて、本日の授業参観や生徒意見交換会について、是非忌憚ないご意見、ご感想をいただければ幸いである。今後の教育活動に参考とさせていただき、生かしていきたいと考えている。最後に、皆様には今後とも本校の教育活動がさらに充実して、本校の魅力が中学生に伝わって、さらに本校が活気づいて発展できるように、それぞれのお立場からご意見やご助言、また、一層のご支援をいただければ幸いである。

### ③議事

#### (1) 授業参観の感想

[委員] 私は1年生から3年生まですべて知っているので、ほとんどの教室を回らせてもらった。特に1年生は大きい教室でみんな集中して学習している姿があった。3年生になると、それぞれ進路に向けて選択する系列によって、少人数の時は3人から4人ぐらいでの授業があった。そちらについても自分たちの進路選択が決まっているという雰囲気や意欲的にやっている感じを受けた。若干、2年生の教室で伏せている生徒が数人見られたが、以前と比べるとかなり集中してやっていると感じた。先生たちも、ICTの活用など授業の工夫が見られて、何とか子供たちの力を伸ばしてやりたいという熱意を感じられる授業が多かったと感じた。

[委員] 一通り授業を見せていただいたが、人数が分散しているということで、内容の濃い授業をやっていると感じた。私たちの頃は何十人という形で授業を受けたので、その点はよいのかなと感じた。パソコン教室に興味を持っていったが、以前、同窓会で、寮にPCをとということで話があったため、家庭でのPCの環境について気になった。一人一台PCということで、社会に出てすぐに役立つのではないかと思った。

[委員] 3年生の英語理解と、1年生の情報の授業を見させていただいた。2つとも少人数だったけれど、すごく楽しく意欲的にやっているということが印象に残った。また、先生とすごく距離が近いことを感じたが、それにより生徒が質問しやすいなど、少人数ならではのメリットがあると感じた。

[委員] 私も英語とパソコンの授業を見させていただいた。私たちのときよりも大分小ぢんまりとしていたが、それが楽しく、隣の生徒と一緒に話をしながら、すごくいい感じで授業が進められていると感じた。先生との距離も非常に近く、分からないことも聞けるということは、少人数のメリットだと感じた。ただ、人数が少ないと若干のデメリットもあるが、子供たちが伸び伸びと授業を受けていると感じた。

[議長] 先ほど委員の方からタブレット活用の現状と課題また、家庭での活用も含めて、状況を教えていただきたい。

[学校] 家庭におけるPCの状況についてですが、PCがない家庭もあるが、Wi-Fi環境はほぼすべての家庭であると思う。

[学校] 寮については今年度、同窓会より補助をいただき、Wi-Fiの設置をさせていただいた。1年次の生徒については、1人1台PCが始まったので、寮の中でも使えるようになった。

[委員] 1人1台端末については、南部町のすべての小中学校で借りているが、Wi-Fi環境が家庭にない生徒もいて、本来であれば宿題なども家庭でタブレットを使ってやっていくようなことや家庭でタブレットを使って予習復習をしていくことも進めていきたい。今年度までは特別な場合を除いては、家に持ち帰らないとしていたが、今の社会状況や他の市町村の状況を考えながら、教育委員会と相談して来年の4月から宿題をタブレット使った家庭での学習も進めていくつもりである。そのため、家庭での整備について、教育長さんと私の名前で保護者の方をお願いしたので（小学校でも同じ）、来年度に向けて家庭でも整備されていくと思う。高校では、1年生はすべての生徒がPCを持っている状況であるか、2、3年生はどうな

のか、それがすべてであるということであれば、高校でもそういう状況なので、家庭での整備について強くお願いできる。身延高校と他校の状況について教えてほしい。

〔学校〕 山梨県内の県立高校は、Windows のパソコンを 1 人 1 台用意してくださいということを、現一年生については、去年の今頃中学校 3 年生にチラシで行っている。現中学 3 年生も、先日の入試事務説明会の時に、チラシが中学校に配付されているはずである。県教委のホームページにもあるが、県立高校への入学生は Windows のパソコンを必ず用意することになっている。なお、県が契約した会社において、ネット通販にて 1 台 56,800 円で買うことができる。本校の生徒の 8 割以上の生徒がそのサイトから買っている。昨年、南部中学校では、担任の先生が強く言ってくれたようで、南部中学校からの入学生は全員、端末をきちんと用意してくれていた。中学校によってはその徹底がされておらず、入学時にも未購入の生徒もいたが、本校の方で説明をして現在は全員持っている状態である。2、3 年生については、各自 PC を持っているわけではないが、例えば、私は、ほぼ全員が持っているスマートフォンを利用して数学のグラフをかかせるなど、授業で利用している。また、本校は、Chromebook が 80 台あり、また Windows の PC を県で 1 学年分の 80 台設置してくれているので、それらを使って進めている授業もある。来年は、2 年生と 1 年生が 1 人 1 台持っていることになるので、県で昨年設置してくれた PC が、ちょうど 1 学年分あるので、高校によっては、それを来年 3 年生に渡して授業で使用するように検討している学校もある。以上のような状況である。

〔学校〕 補足ですが、コロナの影響で授業ができなかったり、休まなければならない生徒に対して、先ほど説明した環境を利用して、課題を発信したり、授業を送信したりしている。先ほどの説明にもあったが、本校においては、全く環境がなくてできないという生徒はいない状況である。

〔議長〕 ICT に関わって非常に大きな課題が、高校だけではなくてギガスクールによって 1 人 1 台タブレットが導入された小中学校でもあると個人的に感じている。具体的に言うと、まず先生方の個人差が非常に大きくて、積極的に活用できるリテラシーを持っている先生がいる一方、使い方をこれから学ばなければならない先生がいることも事実である。そんな中、組織として「みんなで使っていきましょう」という環境をどう作り上げていくかという課題があることと、今日の授業の中では、教材提示として先生は使っているけれど、生徒自身はそのタブレットを使って協働的な学びや深い学びができるような授業を作っていくところまでは、まだ至っていないと感じた。やはり、どのようにツールとして使えば、深い学びにアプローチできるような ICT 活用の方法があるのだろうかということが、学校現場での課題ではないかという感じがしている。よく言われるのは業務改善のために利用して、まず先生たちがツールとして「これは便利だね」ということを実感しながら、授業にも活用できるような流れでやってみたらどうかという意見もよく聞くが、そのような課題がすべての校種にあるということを感じている。また、よい情報等があればご提供をお願いしたい。

## （２）意見交換会の感想

〔議長〕 今日也非常に子供たちの素晴らしい意見を聞くことができた。意見交換会のと

きと同じく、委員の先生方から感想をお願いしたい。

[委員]先ほど生徒の生の声を聞くことができて本当に良かった。本校もコミュニティ・スクールで学校運営協議会を年間4回実施しているが、この取組は本校でも是非実施したいと考えている。しかし、時間的にどの回も一杯で、まだ実施できていない。先生方からいろいろと身延高校の情報はいただいているが、目標を持って頑張っている生徒の声を聴くことができ、先生たちが目指しているものが子供たちにきちんと伝わっていることを改めて感じる事ができた。本校の卒業生が1年生と3年生で2人代表として話をしてくれたが、中学時代と比べると考え方も話し方もすばらしく、きちんと育てていただいていることがよく実感できてよかった。

[委員]意見交換会は、非常に有意義な時間であったと思っている。総合学科について、かなり具体的に話をしていた。毎年、総合学科発表会を開催しており、代表の生徒がいろいろと話をしてくれるが、今日の皆さんもそれぞれ進路希望先がほぼ決まっているとのことだった。これは、やはり総合学科での学習の成果ではないかと思う。それから部活の話があったが、皆さん非常に楽しく部活動をしていて、特に、陸上部と野球部について、頑張っている様子を知ることができた。また、文化部から高校では陸上部に入り成果を出したことも、非常に頑張っていたと感じた。

[委員]まずは、生活の中で最も楽しい時間についてお話があったが、皆さん共通して、仲間と過ごす時間がすごく楽しいし有意義であるという話があった。成長する過程でそういったことがすごく大事なことだと思う。また、3年生については、その中で進路について言及があったが、そのような大切なこともしっかり考えていることも感じた。そして身延高校の今後についてですが、生徒からの目線での意見を聞くことができた。身延高校に入ってみれば、先生、友達との距離がすごく近くて、個別指導もあるということで、よいことがあるということを感じたと思う。こういったものが先輩から後輩へ直に伝われば、身延高校に進学しようという考えが中学生にも出てくると思った。

[委員]意見交換会に出ていた生徒さんは、私たちの頃に比べると、すごく大人のように感じた。私たちも高校生の時にも多分同じようなクラスメートもいたと思うが、一人一人の考え方がしっかりしていて、自分の意見を持っていてしっかり発言することにすごく感銘を受けた。また、私たちの時は、先輩後輩という上下関係がかなりあった時代だったが、そういうところも学年によって先輩と後輩がしっかりと連携をとり、お互いに仲良くしながら学んだり、部活動をしたりすることが感じられて、とても高校生活が楽しいという感じを受けた。

[議長]本日、生徒の意見を私たちに伝えていただくような機会を特別に設定していただいた。7名の生徒が自分自身を振り返ったり、自分の視点で身延高校はどんな学校だったのだろうと考えたりする機会を設定したと身延高校の方で考えていただきたいと思う。生徒が成長できる機会を作ったという視点でこの場を評価していただければありがたいと思う。

### (3) (4) 授業アンケート、学校改善アンケート

(教頭より説明)

[委員]授業アンケートについて、それぞれ3町ありますが、小中学校でも共通で、同

様の傾向があるのではないかと認識している。やはり、家庭学習、自主学習について、先生方も頑張ってくださいているが、なかなか家庭の都合等や子供たちの家に帰ってからの行動ということもあり、進まない面がある。小中高の共通の課題ではないかという感想を持った。

[委員] 授業アンケートの問 23 の家庭での学習習慣について、よく文武両道と言うが、部活動等に一生懸命取り組んでいる生徒は、家庭でも一生懸命学習しているとか、逆にあまり家庭での学習はできていないとか、などの傾向はあるか、教えてほしい。

[学校] 明確にデータとしてとしては把握していないが、一つ言えることは、部活動に一生懸命取り組んでいる生徒の方が勉強も頑張っていると言える。

[議長] 授業アンケートの問 14 と 20 の関係、その間にある問 18、19 について、捉え方によっては、予習復習はよく中学校では自主学という言い方するが、生徒自身が、自主学習として捉えているので、宿題以外に自分から課題設定をした予習復習をしているかという捉えをしているため、問 18、19 の数値が少し低めになっていると考えられると思う。つまり、出されたものについて真面目に取り組んだけれども、それを超えて何か自分で課題を設定するというようなところについては、まだ課題はあると捉えればよいと思いながら、説明を聞かしていただいた。それともう 1 点、これも昨年度の課題であったと思うが、学習時間の確保について、家庭学習の習慣づけというところが、先ほど委員さんからもご意見をいただいた通りだと感じた。

[議長] 課題検討について教頭先生から説明があった通りだと思いながら聞かせていただいた。また、先生方で情報共有していただきながら、後期に向けて改善ができるように頑張っていたいただければありがたいと感じた。

[学校] ご審議をありがとうございました。いただいたご意見等はしっかりと生かしていきたい。今後ともご支援をお願いしたい。

#### ④連絡

- ・ 第 3 回学校運営協議会について

【閉会】